



京まよびニュースレター

Newsletter

Newsletter

京都市教育委員会事務局生涯学習部

学びで人生も社会も豊かに！

京都市社会教育委員の提言

人生100年時代、長い人生をより豊かに過ごしたいですね。そのためには、学びが大切と言われています。そこで、令和4年3月の社会教育委員会議では「生涯を通じて学び続けるために」と題して協議を行いました。「今から何を始めればいいの?」「生涯学習といわれても時間がない…」そんなあなたに、今回は委員の皆様からのご提言を紹介します。学びのきっかけやヒントが見つかるかもしれません。

好きなこと、おもしろいことから始めよう！

学びを与える環境に行かなくても、自分で学ぶ、喜びを知るのも学び！

学びたいと思った時が、学び始めのチャンス！

5年後、10年後に楽しく生きていらるために、今は何を選択する？

「京(みやこ)まなびパスポート」や
京都市生涯学習情報検索システム
「京(みやこ)まなびネット」を活用してみよう！

本郷 真紹 議長

学校法人立命館理事補佐、
立命館大学文学部教授



石川 一郎 氏

京都新聞社滋賀本社代表・編集局長



植松 明彦 氏

令和2年度京都市PTA連絡協議会会長



片山 九郎右衛門 氏

観世流能楽師



「自分の美意識に基づき、やりたいことに関して、何が自分に残るかを考えずに最後まで燃焼してしまう」というほどでないと、文化的・歴史的に残るような人は出てこないのではないかと思います。いろいろな道をたどりながら、物事を突き詰めていくと、国際社会の中で、コラボレーションする楽しみが生まれるのではないかと思います。

森 清顕 副議長

清水寺執事補、
上智大学グリーフケア研究所非常勤講師



稻垣 恒子 氏

京都大学理事・副学長



岡田 智子 氏

市民公募委員



年齢を問わず、幅広い方が大学を利用できる受皿があればと感じています。学生はレポートを書く時には図書館の利用が欠かせませんが、通学生だけではなく通信生にも所属大学にとらわれず大学図書館の使い方をもう少しオープンにしていただいたら、さらに学びの機会が広がるのではないかでしょうか。

佐竹 美都子 氏

株式会社西陣坐佐織代表取締役、
アテネオリンピックセーリング競技日本代表



「学び」は、行政だけでなく、地元の企業やスーパー等、生活の中で身近に触れるものと一緒に取り組むことも必要だと思います。「学び」を応援したいという市内の企業も多くあるはずで、行政と企業が手を組み、京都市独自の「学び」の形を作っていくのも面白そうです。また、学びを「アウトプットする場」を設けることも大事です。

園部 晋吾 氏
(地域食育委員会委員長)・山ばな平八茶屋主人

学びの機会については、多岐にわたるテーマ設定と、リモートの活用が良いと思います。リモートも録画を活用すると、時間と場所に縛られません。また、学びたいと思った時に、講座等を紹介してくれる「学びのシステム」がいつでも見られるといいです。SNSも含めて広報を十分に活用し、学びを身近なものにしていくことが大事だと感じました。



永田 紅 氏

歌人、京都大学特任助教



「短歌をもっと早く始めればよかった」とよく耳にします。生活に追われて後回しにしてしまいがちですけれども、時間は戻りません。創作活動等では、その時々の感情を留めておくためにも、時期、時間は、大事なファクターです。また、特に女性は、自分のことをやるのに家族に遠慮してしまう人も多いので、家族や社会の意識を啓蒙することが大事です。

柾木 良子 氏

同志社大学日本語・
日本文化教育センター嘱託講師



自分がふと興味・関心を持ったタイミングで学ぶこと。それが一番身につきます。「お料理のレシピを覚えて、マスターしよう」とか、介護に疲れたたら「リフレッシュ方法はないかな」と調べて、実践する等、一つ一つの積み重ねがあって、それが自分にとってゆとりに感じたら、そういうことも大切な学びになるのではないかと思います。

山田 俊夫 氏

京都市小学校長会理事・
京都市立石田小学校長



身近な場所で、安価に、多彩な学びが継続して受講できることが理想です。学びたい気持ちはあっても、時間的・金銭的・心に余裕がないと、生活を差し置いて「学ぼう」とは思えません。生涯を通して学び続けるためにも、社会が安定して、働く人々や家庭環境にしんどさを感じておられる方も、余裕をもって参加できる施策や機会の充実に期待します。

すずか

かなこ

鈴鹿 可奈子 氏

株式会社聖護院ハッ橋総本店
専務取締役



仕事に関係がないことを学ぶとなると、少し勇気が必要です。しかし、一見仕事に関係がないことでも、将来的に仕事に関係することもあります。「好きなことをする」のが、転職しても、仕事をリタイアしても、学べることに繋がるので、そのことを許容できる社会になっていくと、さらに学びやすいのではないかと思いました。

豊田 まゆみ 氏

一般社団法人
京都市地域女性連合会理事



廣岡 和晃 氏

日本労働組合総連合会
京都府連合会会長



森口 真希 氏

株式会社堀場製作所ステンドグラス
プロジェクト推進室室長



山野 真梨紗 氏

市民公募委員



「京まなびパスポート」(※)について、まず存在を知ってもらうこと、認定のハードルを低くすることを提案します。また、一人で地域のイベント等に参加することにハードルを感じる人もいるため、人のネットワークを作り、「一人ではなく、共にみんなで学んでいる」という感覚をつくることも大事です。

社会教育委員って？

社会教育法に基づき、生涯学習の計画の立案をはじめ、家庭・地域の教育力の向上や京都の豊かな学習資源の活用など、生涯学習全般に関し、教育委員会に助言を行う。

「京(みやこ)まなびネット」で会議の摘録や、委員が授業を行う「京(みやこ)まなびミーティング」の動画・摘録を公開中！



※『京(みやこ)まなびパスポート』って？

個人が学習目標や計画を立てて学び、その学習成果を記録するもの。修得した「まなび」の数に応じて、認定書等が交付される。

HPから様式の
ダウンロード可能。



「京(みやこ)まなびニュースレター」についての問合せ先

京都市教育委員会事務局生涯学習部
生涯学習推進担当

京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町549
(元生祥小学校)

TEL: 075-251-0410 FAX: 075-213-4650
メールアドレス: shogaigaku@edu.city.kyoto.jp



紙面への感想を
メールでお寄せ
ください。